EXPO'70

1970年 大阪万博

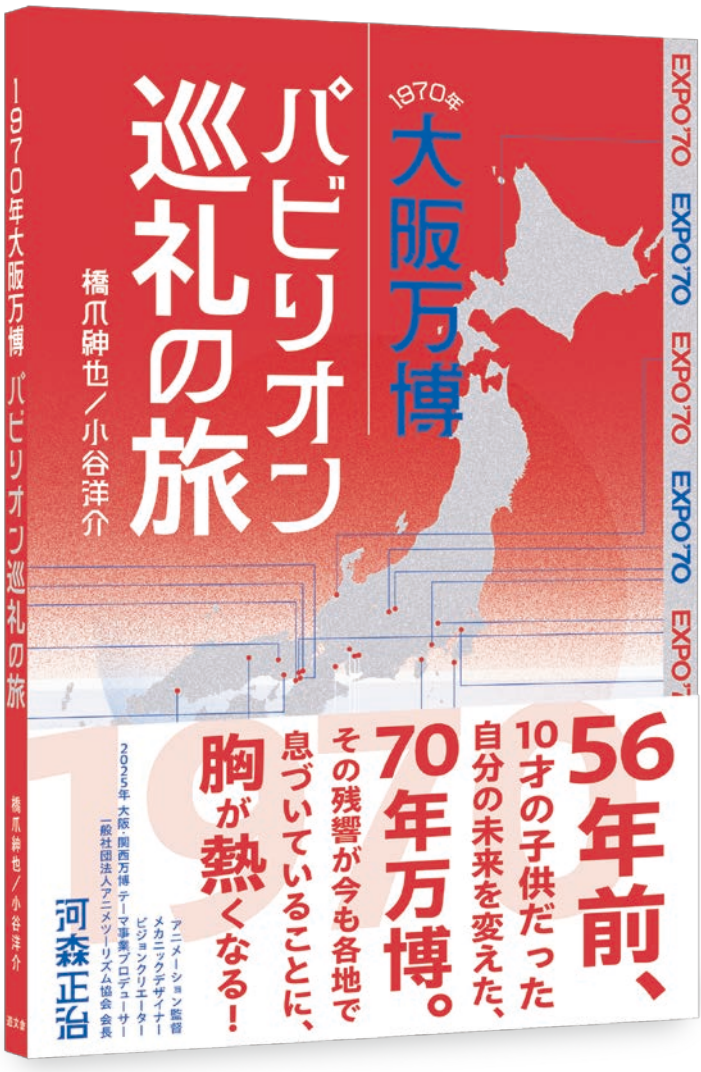
パビリオン巡礼の旅

あの日のパビリオンを探しに、日本を巡る。

1970年大阪万博のパビリオンは、
いまも日本各地に存在する。
その「現在地」を巡る一冊。

2026年8月29日より
万博記念公園
EXPO'70 パビリオン、
EXPO GOODS STORE
で販売開始

順次
Amazon・
楽天ブックスなど
各種ECサイトでも
発売





▲表紙は万博レガシーをたどれる展開マップ

著・監修　橋爪紳也／小谷洋介
企画・構成　万博記念公園マネジメント・パートナーズ
発行　株式会社 遊文舎

ISBN978-4-910433-59-2　C0060
定価（本体2,700円+税）

記録写真をふんだんに使用した全編カラー
70年大阪万博の「その後」の集大成

1970年大阪万博閉幕後、国内外へ移ったビリオン、施設、展示物、装飾品、モニュメント等、おおよそ50点以上の「その後」を大追跡。鉄鋼館はEXPO'70パビリオン、日本民藝館は大阪日本民芸館として、今も万博記念公園に残っているほか、ラオス館は長野県の寺院に。カンボジア館は兵庫県の自治会館に。ミュンヘン市館は岡山県の自衛隊駐屯地の施設に。サンヨー館はカナダの大学図書館として現存している。

すでに取り壊されたものの、かつて移設されたパビリオンや展示物も多数。それら移設にまつわる経緯や裏話など、30年以上にわたって追究してきた移設調査の決定版。

さらに、70年万博会場跡地が万博記念公園に変貌を遂げるまでの歩みとして、跡地利用計画、太陽の塔の撤去騒動、現在の万博記念公園の姿なども紹介している。

著者紹介

橋爪 紳也（はしづめ しんや）

1960年大阪市生まれ。大阪公立大学名誉教授、大阪アーバンデザイン&マネジメントセンター所長。京都大学工学部建築学科卒、同大学院修士課程、大阪大学大学院博士課程修了。建築史・都市文化論専攻。工学博士。

大阪府特別顧問、大阪市顧問、公益社団法人商業施設技術団体連合会会長、一般社団法人生きた建築ミュージアム大阪理事長、一般社団法人美食都市研究会会長、イベント学会副会長ほか兼職。

『大阪万博の戦後史』『都市大阪の戦後史』『大大阪モダニズム遊覧』ほか著書多数。日本観光研究学会賞、日本建築学会賞、日本都市計画学会石川賞など受賞多数。

小谷 洋介（こたに ようすけ）

2019年より、万博記念公園における企画展の企画・制作を担当。「ビフォー・アフター展」(2019)、「大阪万博と万博記念公園の歩み」(2022)、「大阪万博ユニフォーム・コレクション」(2024)、「プレイバック1970大阪万博と昭和レトロ」(2025)、「河森正治創作展」(2025)、「ビフォー・アフター展」(2026)など。著書に『吉本興業をキラキラにした男』(KK ロングセラーズ)。

販売場所

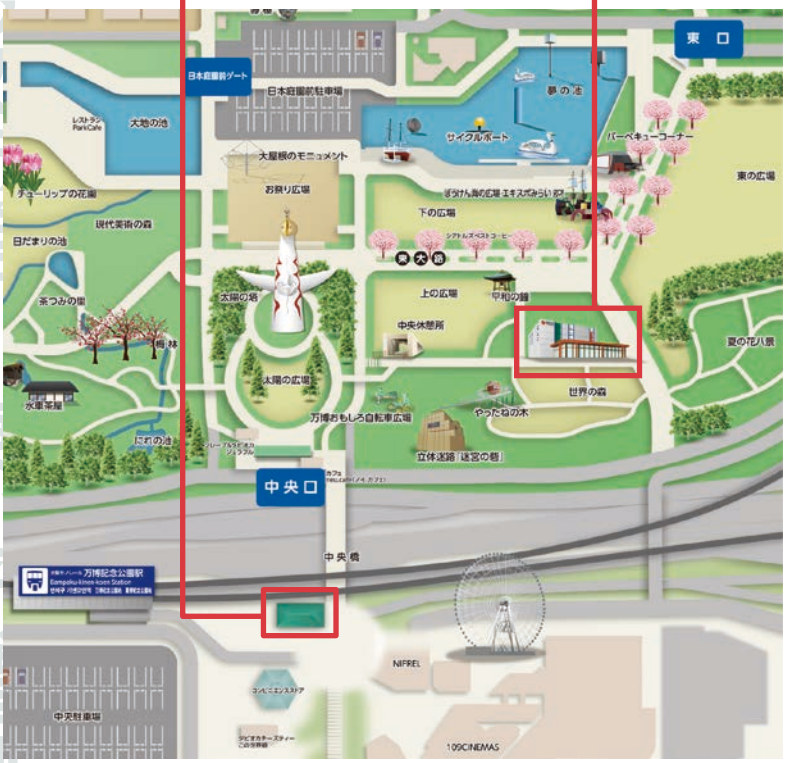


EXPO GOODS STORE



※自然文化園・日本庭園
共通入園料が必要となります。

EXPO'70 パビリオン



■ 順次Amazon・楽天ブックスなど各種ECサイトでも発売